

知ってて役立つ!! **備**えあれば安心!!

わが家の台風対策



監修：公益社団法人 沖縄県建築士会
発行：大同火災海上保険株式会社

はじめに

沖縄県は台風の常襲地帯です。毎年のように台風が接近し、建築物や農作物などに、強風や高潮・塩害による大きな損害が発生しています。特に近年では、大型で強力な台風が襲来しており、建築物の屋根の破損や窓ガラスが割れることで、人命に関わるような大きな事故も発生しています。

このパンフレットは、県民の皆様のお住まいを中心に、①台風によってどの箇所が被害に遭いやすいか、②効果的な台風被害の防止・軽減策などについてわかりやすくまとめたものです。

このパンフレットをご覧になり、台風対策の重要性を再認識され、『わが家の台風対策』として役立てていただければ幸いです。

目次

1	沖縄と台風	1
	(1) 沖縄は台風の通り道	
	(2) 台風の風速	
2	台風による被害	2
	(1) 2018年台風24号の損害保険金支払状況	
	(2) 台風の被害を受けることが多い箇所	
	(3) 被害の原因は風圧と飛散物	
3	被害の多い個所とその対策	4
	(1) 窓・ドアなどのガラス	
	(2) 屋根瓦	
	(3) エアコンの室外機	
	(4) 外壁	
	(5) アンテナ	
4	建物・設備の経年劣化	9
5	わが家の耐風チェック	10
	(1) 家の外まわり	
	(2) 非常時の持出品	
	(3) 台風通過後の手入れ	
6	住宅修理サービスなどのトラブル	13

1

沖縄と台風

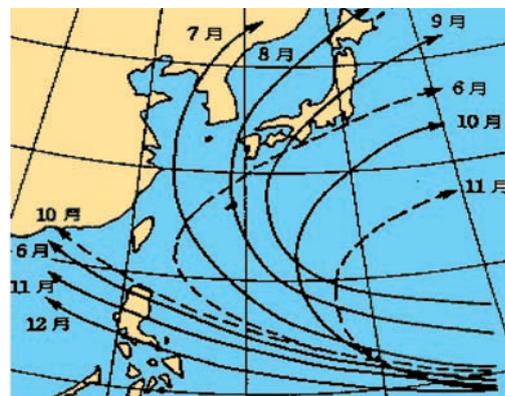
1 沖縄は台風の通り道

台風シーズンには沖縄県全域に多くの台風が接近します。フィリピン近海等の南の海上で発生した台風は、海面から水蒸気をエネルギーとして吸収し、強風を伴って沖縄県付近を通過していきます。

1991年～2020年の30年間をみると、年間で約25個の台風が発生し、約12個の台風が日本から300km以内に接近し、約3個が日本に上陸しています。このうち、7～8個が沖縄県に接近しています。

台風の月別の主な経路

出典：気象庁ホームページ



(実線は主な経路。破線はそれに準ずるもの)

2 台風の風速

気象予報などで使われる台風の風速には、平均風速と瞬間風速の2つがあります。平均風速とは10分間の平均の風速です。平均風速が毎秒17メートル以上になった低気圧のことを台風といいます。瞬間風速とは、瞬間的に吹いた風の速さであり、平均風速の1.5倍～2倍近くになるといわれています。平均風速が毎秒40メートルの場合は、瞬間風速は毎秒80メートルの強風が吹く可能性があります。

●風の強さと影響

風の強さ (予報用語)	平均風速 (m/s)	およその 時速	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	およその 瞬間風速 (m/s)
やや強い風	10以上 15未満	～50km	一般道路の自動車	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20
強い風	15以上 20未満	～70km		風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業は極めて危険。	電線が鳴り始める。看板やトタン板が外れ始める。	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある。雨戸やシャッターが揺れる。	
非常に強い風	20以上 25未満	～90km	高速道路の自動車	何かにつかまっていなくて立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	通常で速度で運転するのが困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。ビニールハウスのフィルム(被覆材)が広範囲に破れる。	30
	25以上 30未満	～110km	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	走行中のトラックが横転する。	固定の不十分な金属屋根の葺材がめくられる。養生の不十分な仮設足場が崩落する。	40
猛烈な風	30以上 35未満	～125km					外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。	50
	35以上 40未満	～140km					住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	60
	40以上	140km～						

出典：気象庁ホームページ

●沖縄県で記録された最大瞬間風速

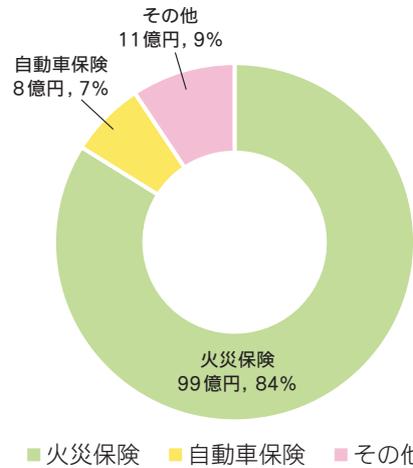
順位	地点	m/s	日付
1	宮古島	85.3	1966年9月
2	与那国島	81.1	2015年9月
3	宮古島	79.8	1968年9月
4	宮古島	74.1	2003年9月
5	那覇	73.6	1956年9月

1 2018年台風24号の損害保険金支払状況

近年、地球温暖化等の影響から自然災害が多発化、大型化しているといわれています。

2018年の台風24号は大型で非常に強い勢力で沖縄地方に接近した後、勢力を維持したまま和歌山県に上陸、その後、東日本から北日本を縦断しました。この24号の影響により、広い範囲で暴風、大雨、高波や高潮が発生し、沖縄県南城市系数では同地点観測史上最大の最大瞬間風速56.2メートルを記録しました。また、沖縄県内では負傷者52名の人的被害が生じたほか、住家等においても全壊や半壊、一部破損、床上・下浸水など多くの被害が生じ、これらの損害に対して約118億円の損害保険金が支払われることとなりました。この金額は沖縄県での過去最大の支払金額となります。

〈2018年台風24号の損害保険金内訳〉



出典：日本損害保険協会「平成30年台風24号にかかる支払い保険金年度末調査結果」より作成

記録的暴風に混乱

奥武島 高波で浸水 柵倒壊、倒木が道ふさぐ

台風24号 沖縄直撃

本島に非常に強い勢力が襲来し、各地で暴風、大雨、高波や高潮が発生し、被害が拡大している。沖縄県内では、奥武島で高波による浸水、柵倒壊、倒木が道ふさぐなどの被害が生じている。

南部 奥武島では、高波による浸水、柵倒壊、倒木が道ふさぐなどの被害が生じている。また、那覇市でも、サイレンの鳴り響く中、外壁・看板落ち、人通り消えるなどの被害が生じている。

北部 室根飛び震える住民、室内で発電機一酸化中毒も。また、宮古市でも、被害少なく「安心」の声を聞かれる。

中部 うるま中心に停電、自家発電で営業店舗も。また、那覇市でも、被害少なく「安心」の声を聞かれる。

台風本島直撃 23人けが

24号 南城市瞬間風速56.2メートル

大規模で非常に強い台風24号が29日午後、南城市に直撃し、瞬間風速56.2メートルを記録した。南城市では、瞬間風速56.2メートルを記録し、23人がけがをした。また、南城市では、瞬間風速56.2メートルを記録し、23人がけがをした。

23万世帯停電

台風24号の予想時間表

地域	強風域	暴風域
沖縄本島地方	30日午前6時ごろまで	30日正午ごろまで
大東島地方	30日正午ごろまで	30日正午ごろまで
先島諸島	30日午前6時ごろまで	30日午前6時ごろまで

※29日17時6分沖縄気象台発表

また、南城市では、瞬間風速56.2メートルを記録し、23人がけがをした。また、南城市では、瞬間風速56.2メートルを記録し、23人がけがをした。

2 台風の被害を受けることが多い箇所

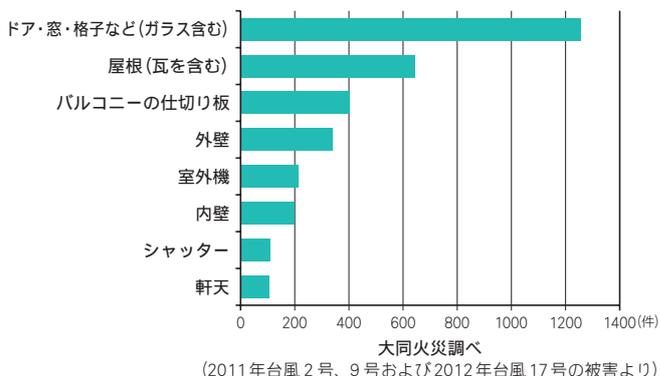
台風により、被害の発生している主要な箇所をグラフに示しています。ドア・窓・格子、シャッターなどの開口部や屋根、共同住宅のバルコニーの仕切り板などの被害が多くなっています。

被害の状況



ドア

●主要箇所の被害発生状況



シャッター



バルコニーの仕切り板 (共同住宅)



軒

3 被害の原因は風圧と飛散物

強風による損害は、風圧と飛散物の衝突が原因です。台風の風速と風圧の力は以下のとおりです。最大風速毎秒40メートル、最大瞬間風速毎秒90メートルを例として、台風の風の速さと風圧をわかりやすく説明します。

①風の力

毎秒40メートル		毎秒90メートル	
風速：時速 約144キロ	風圧：重さ 約100キロ (1㎡あたり)	風速：時速 約324キロ	風圧：重さ 約500キロ (1㎡あたり)
			
プロ野球のピッチャーが投げるボールの速度	バーベル	新幹線「はやぶさ」の速度	馬1頭

②飛散物について

固定されていないものや壊れたものは飛散物となります。飛散物は、小石や割れた瓦の破片のような小さなものから、屋根から外れたトタン板などの大きなものまでさまざまなものがあります。

平均風速が毎秒30メートル程度の場合は、小石などの小さなものは、飛びはじめてから5秒ほどで時速70キロ程度の速さになって飛散するといわれています。

飛散物の代表的なものとしては、**小石、植木鉢、割れた屋根瓦、TVアンテナ、エアコン室外機のパネル**などがあります。**トタン屋根、角材、フェンス**なども飛散します。また、固定が不十分である場合はプレハブ建物そのものが吹き飛ばすこともあります。

3

被害の多い個所とその対策

① 窓・ドアなどのガラス

窓ガラスは、風圧や飛散物の衝突で壊れることが多く、割れたガラスの破片でケガをする危険性が大きくなります。室内に強風が吹き込むことにより内壁・天井・照明・家具なども損害を被り、被害が拡大します。



割れたガラス



室内に風雨が吹き込み大きな被害が発生する

対策

① 雨戸、シャッター、防風スクリーン・ネットなどで窓ガラスを強風や飛散物から守る。



雨戸



防風スクリーン(※1)



シャッター



ネット(※2)

窓ガラスに吹き付ける強風を遮ることができます。ネットは、飛散物の衝撃を和らげることでガラスを保護します。なお、シャッターは、車庫など開口部の大きな箇所に設置する場合は、強度などに注意が必要です。

②ガラスの飛散を防止する。



●あわせガラス

2枚のガラスの間にあるフィルムが衝突したものの貫通を防止します。また、割れたガラスの飛散も防止します。

●飛散防止フィルム

ガラスの室内側にフィルムを貼ることにより、衝突物の貫通と割れたガラスの飛散を防止します。

●方立

大きな面積のガラスを使用する際には、方立を入れて、ガラスの面積を小さくすることで被害の範囲を小さくすることができます。

ガラスの飛散やサッシからの脱落を防ぐ効果があります。その結果、ガラスの破片によるケガと強風の吹き込みを防止する効果があります。

宮古空港管制塔のガラス破損

2003年9月に宮古島を襲来した台風14号の強風により、地上22メートルの管制塔に取り付けられた窓ガラスが破損しました。

このガラスは、ペアガラス(外側12ミリ、内側10ミリの間に空気の層のあるガラス)12枚のうち、6枚が割れてしまいました。



(独) 建築研究所ホームページより転載

※1 事例にある防風スクリーンは、アメリカから輸入されたものです。アメリカのハリケーン常襲地域であるフロリダ州の建築基準法の認定を受けており、数年前から沖縄に輸入されています。宮古島や石垣島を中心に普及してきており、最近では沖縄本島でもホテルや病院施設、金融機関、商業施設などで設置されています。

※2 ネットは、宮古島や石垣島を中心に設置されています。

2 屋根瓦

屋根瓦も台風被害の発生しやすい部分となっています。屋根瓦は破損に伴い、はがれる場合があり危険な飛散物となります。二次的な被害防止のためにもしっかりと対策を講じましょう。



(独) 建築研究所ホームページより転載



(独) 建築研究所ホームページより転載

対策

風が吹くことで屋根には押す力と引っ張る力がかけられます。風速が増すごとにその力は強くなり、台風時は瓦の重さだけでは耐えることができずに吹き飛ばされてしまいます。漆喰やビスなどでしっかり固定することが重要になります。



漆喰 (本瓦葺き)



ビス止め (S型瓦)

ポイント

漆喰に劣化が生じている場合は、塗り重ねまたは塗り替えが必要になります。ビス止めの場合は、ステンレス製のビスを使用することでさびにくくなり、長期間保持できますが、やはり固定状況の確認等のメンテナンスは必要です。

漆喰塗りやビス止め以外にも、瓦と瓦を組み合わせて固定することで強度を高めた防災瓦があります。また、瓦と屋根を泡のように膨らむウレタンで固定する外国製品を利用した工法もあり、日本国内でも公共建物などにも使われるようになってきています。

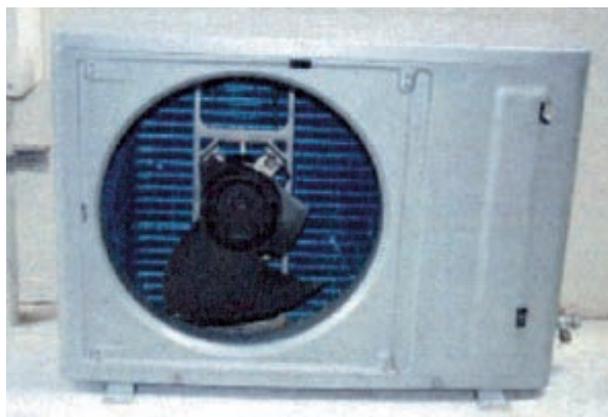
2019 (令和元) 年房総半島台風 (第15号) により住宅の屋根瓦等に大きな被害が発生したことを受け、建築基準法の告示基準の改正が行われ、2022 (令和4) 年1月1日より施行されることとなりました。これを受け、新築の住宅については、2022 (令和4) 年1月より瓦の留付け方法に関する基準が強化されます。

3 エアコンの室外機

エアコンの室外機についても台風による被害が多発しています。



転倒



強風によりファン・モーターが破損

※ エアコンの室外機は、屋根・壁の上部などに設置されることも多く、台風の強風をまともに受けることから上記のような被害が発生しています。サビによる取付部材の劣化も転倒被害の要因になります。

対策



さびにくい金具やワイヤーによる固定



強風が直接吹き付けない場所への設置

ポイント



耐塩害仕様の室外機

(注) JRA耐重塩害・JRA耐塩害仕様とは、一般社団法人日本冷凍空調工業会が定めた規格です。

共同住宅建物の角の上部に設置されたエアコンの室外機が強風のダメージを受け、塩害の腐食も加わり、落下するおそれがある。



マンションや共同住宅では、ほとんどの室外機がベランダに設置されています。建物に吹き付ける風は、建物に遮られ上下左右に流れるため、建物の角部分は中央部分に比べて風速が大きくなり、それだけ風の勢いが強まります。室外機はできるだけ角の部分を避けて設置しましょう。

4 外壁

コンクリートの外壁は乾燥収縮や気温変化などの原因により、ひび割れが発生します。ひび割れから雨水が侵入し、内装等に損害を与えることもあります。また、強風によって外壁がはがれ危険な飛散物となる恐れもあります。外壁の種類に応じて、定期的なメンテナンスを行いましょう。



コンクリートのひび

対策



シーリング材による補修

5 アンテナ

アンテナは屋外の高所に設置され、強風の影響を直接受け被害の発生しやすい部分となっています。アンテナが破損すると、テレビの映像が乱れるか最悪の場合映らなくなり、重要な情報を得るのが難しくなってしまいます。また、傾いたり折れるだけでなく、危険な飛散物となる恐れもあるため、二次的な被害防止のためにもしっかり対策を講じましょう。



台風で傾いたアンテナ



台風で根元から折れたアンテナ

ポイント

ネジ止めしている部分がさび付いているとそこから折れる恐れがあります。そのような場合は、ネジも回らないため、結束バンドや針金など、別の方法でしっかり確実に固定するようにしましょう。

4

建物・設備の経年劣化

住宅などの建築物は長期にわたり使用されることとなります。安全で安心して暮らしていくためには、建築物の状況に応じたメンテナンスが必要となります。沖縄県は周囲が海に囲まれており、台風で大量の海水が飛散するため、塩害への対策が必要です。また、紫外線が強く、塗装や防水材などの劣化が早いいため、十分な効果がなくなりやすく、そのため、建築物・装置の機能が低下します。

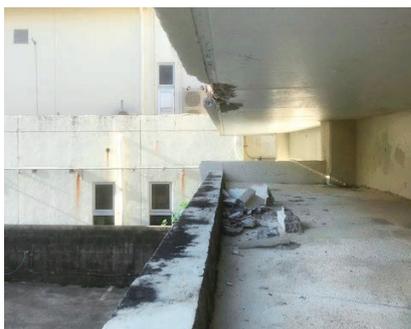
建物や設備の劣化の進行を遅くするには、常日頃のメンテナンスがとても重要になります。

●建物や設備などの劣化を示す症状

劣化現象	具体的な症状
ひび割れ	コンクリート部分に発生します。ひび割れは、コンクリート内の鉄筋にサビが発生する要因になります。
剥離・剥落	鉄筋がさびて膨張し、周囲のコンクリートに圧力をかけることにより、コンクリートが剥がれたり、剥がれ落ちたりします。
建具・設備のサビ・腐食	ドア・サッシなどの建具や照明器具、門扉、エアコンの室外機などの金属製のものには、サビが発生することがあります。雨にぬれない部分ほど、塩分が蓄積しサビの進行が早まります。
塗装の膨れ・はがれ	外壁のコンクリートと塗装面の間に、水が浸入することや塗装が熱で軟らかくなることで、コンクリートと塗装が密着しなくなり、膨れたように見えます。ひどくなると塗装がはがれてしまいます。
サビ汁	外壁などのひび割れた部分から赤茶色の水の流れた跡ができます。コンクリート内のさびた鉄筋に触れ、赤茶色に変色した雨水が流れ出しているのです。
屋根瓦	漆喰の劣化により屋根瓦がはがれ落ちやすくなります。瓦の欠けやガタつきがあります。
コーキング材のひび割れ	ドアなどの建具とコンクリートの隙間をコーキングで埋めることで防水の役割を果たしていますが、時間が経つと紫外線などの影響で硬化し、ひび割れ等が生じ防水の機能を失います。
防水塗装・シートの剥がれ	雨漏りの主な原因として防水塗装やシートの剥がれが挙げられます。雨漏りは広範囲に影響を及ぼし、補修費用も高額になりやすいため、定期的なメンテナンスが重要です。



ひび割れ



剥落(軒)



サビ



塗装の膨れ・はがれ



サビ汁



漆喰の劣化

5

わが家の耐風チェック

1 家の外まわり

いざというときに備えて、わが家の“耐風度”をチェックしてみましょう。

- 家屋、敷地まわりのどの部位に弱点が多いかを確認してください。チェックマークが多いほど『耐風度』が低いことになります。
- 特に屋根まわりや開口部は、過去の事例からみても最も壊れやすい部分です。また、建物倒壊の原因や他人にケガをさせることもあります。この部分に弱点がある場合は、専門業者に相談のうえ、適切な補修をしておくことをお勧めします。
(参考：日本損害保険協会「わが家の耐風診断シート」)

雨戸・ガラス窓等

Q1□	雨戸・シャッターの付いていない窓がある。	飛来物でガラスが割れると強風が室内に吹き込み、天井や屋根がめくれ上がるなど思わぬ損害が発生します。雨戸・シャッターの取り付けが効果的です。
Q2□	網戸や雨戸にゆるみやガタつきがある。	網戸や雨戸が強風で飛ばされ、自分の家を損傷するだけでなく、近隣にも損害を与える危険があります。
Q3□	窓枠の取り付け部が傷んでいる。	窓枠部分から雨水が浸入し、このまま傷みが進行すると、強風で窓枠自体が外れる原因にもなります。
Q4□	窓ガラスを押してみると少しガタつきがある。	ガラスを固定する材料が傷んでいます。強風でガラスが破損する原因となり、負傷する危険もあります。窓ガラスにテープや飛散防止フィルムを貼付することが効果的です。
Q5□	通風孔や換気扇等の開口部がある。	雨・風の強い大型台風の場合は、通風孔や換気扇等の開口部から雨が吹き込むことがあります。開口部には、外側からビニールテープを貼ったり、カバーを取り付けましょう。



ベランダ・バルコニー

Q1□	床の止め付けに不良な箇所がある。	強風で床材がめくれ上がり、窓ガラスを破損するおそれがあります。
Q2□	手すりにゆるみや傷んでいる箇所がある。	強風で手すりが破損して、建物や周囲に大きな被害を及ぼすおそれがあります。
Q3□	鉢植えや物干し竿が置いてある。	強風で飛ばされ、自分の家を損傷するだけでなく、近隣にも被害を及ぼす危険があります。固定するか屋内に取り込みましょう。
Q4□	排水口が詰まっている。	排水ができず、そこから雨水が浸入します。事前に排水口を確認し、つまりを除きましょう。

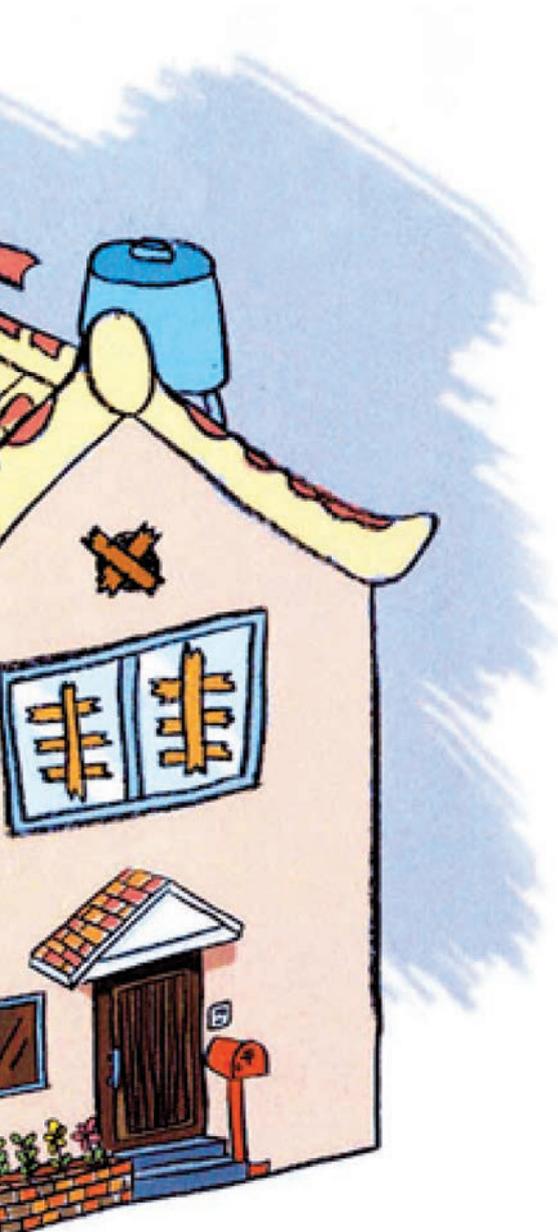
車庫まわり・その他

Q1□	車の近くに植木鉢やプランターなどが置いてある。	強風で飛ばされて車を損傷するおそれがあります。固定するか屋内に取り込みましょう。
Q2□	近くに海や河川がある。	浸水や水没のおそれがある場合は、高台や立体駐車場など安全な場所に車を移動しましょう。
Q3□	屋根付き車庫の支柱の基礎に浮き上がりや隙間がある。また、屋根の固定部に緩みがある。	屋根付き車庫は風をはらみやすく、強風で被害を受けやすい設備です。強風によりめくれたり、飛散して車や隣家を損傷するおそれがあります。基礎部分や屋根の固定が十分であるかチェックしましょう。

外壁・内壁

Q1□	外壁に亀裂、割れ、腐れ、反り、変形などの劣化が見られる。
Q2□	内壁に雨がしみ込んだ跡がある。

※ 5月ころから沖縄に接近する台風が多くなります。
台風シーズンに入る前にチェックしましょう。



屋根まわり

Q1□	降雨時に雨漏りしたことがある。	屋根の下地材が腐っていて、屋根材の固定力が低下し、屋根がめくれ上がる危険性があります。
Q2□	強風時に異常な風切り音が聞こえる。	瓦などの屋根材に変形やズレが生じていることがあり、屋根材の飛散原因となります。
Q3□	屋根瓦にヒビ割れ、欠損、ズレ、浮きが見られる。	屋根材の飛散原因となります。また、雨水の浸入により下地材の腐れにつながります。
Q4□	軒先が部分的に垂れている。	下地材が腐っている可能性があります。特に軒先は風の力を強く受けるため、屋根の破損につながります。
Q5□	屋上タンクの定期点検を行っていない。	タンクは荷重が大きいので、ガタつきがあると建物を傷めたり、強風により飛ばされ、近隣にも被害を及ぼすおそれがあります。
Q6□	建築後10年以上たっており、この間、点検や補修をしていない。	経年劣化により、10年以上たつと強風による屋根の被害が目立ってきます。一度、専門業者による診断をしてもらいましょう。
Q7□	排水口が詰まっている。	屋上に入出入りするのためのドアがある場合は、水位があがると隙間から雨水が浸入することがあります。排水口の異物を取り除きましょう。

診断結果

(チェック数) 0～5	比較的 危険度は低い と思われますが、油断は禁物です。チェックのついた項目を今一度見直しましょう。
6～10	念のため 見直し が必要です。災害時の備えは出来ているようですが、十分とは言えません。いざという時のためにもう一度点検を！
11～15	少し 不安・心配 です。今すぐチェックの付いた項目箇所を見直し防災意識を高め、点検を行ってください。
16～21	至急! 家屋の点検・確認を行ってください。自分自身のみならず他人にケガをさせるおそれもあります！災害は起きてからでは遅いのです。

雨水が壁の内側に入り込み、下地材が傷んでいる可能性があります。下地材の劣化は建物の耐久性を大きく低下させる原因となります。

ポイント

台風の風雨が激しくなってからチェックや対策のために屋外に出ることは**非常に危険**です。

強風や突風にあおられて転倒し、負傷する危険性が高くなりますので、**絶対にやめましょう。**

2 非常時の持出品

台風が停滞した場合など長期間外に出られない場合に備えて、次のものを用意しておきましょう。

- ①テレビ・ラジオやインターネットなどの気象情報に注意し、不要な外出は控えましょう。
- ②台風が停滞するなど、長期間に渡り外出ができなくなることも想定されます。3日分程度の食料品や生活用品を備えておきましょう。また、台風による被災に備えて、懐中電灯、携帯用ラジオ(乾電池)、救急薬品、衣類、貴重品などの非常用品を確認しましょう。
- ③水タンクのない場合は停電に伴って断水することもあります。浴槽などに水を貯めておき、トイレ用などの生活用水も確保しましょう。
- ④外からの飛散物に備えて、カーテンやブラインドは閉めておきましょう。



非常用持ち出し袋

避難の際に持ち出すもの！



- | | | |
|---|--|--|
| <input type="checkbox"/> 水 (ペットボトル) | <input type="checkbox"/> マッチ・ろうそく | ■ 感染症対策にも有効です!! |
| <input type="checkbox"/> 食品
(ご飯(アルファ米など)、レトルト食品、ビスケット、チョコ、乾パンなど：最低3日分の用意!) | <input type="checkbox"/> 救急用品
(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など) | |
| <input type="checkbox"/> 防災用ヘルメット・防災ずきん | <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ | <input type="checkbox"/> マスク |
| <input type="checkbox"/> 衣類・下着 | <input type="checkbox"/> プランケット | <input type="checkbox"/> 手指消毒用アルコール |
| <input type="checkbox"/> レインウェア | <input type="checkbox"/> 軍手 | <input type="checkbox"/> 石けん・ハンドソープ |
| <input type="checkbox"/> 紐なしのズック靴 | <input type="checkbox"/> 洗面用具 | <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯 (※手動充電式が便利) | <input type="checkbox"/> 歯ブラシ・歯磨き粉 | <input type="checkbox"/> 体温計 |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ (※手動充電式が便利) | <input type="checkbox"/> マウスウォッシュ | ■ 一緒に持ち出そう!! |
| <input type="checkbox"/> 予備電池・携帯充電器 | <input type="checkbox"/> タオル | |
| | <input type="checkbox"/> ペン・ノート | <input type="checkbox"/> 貴重品 |
| | <input type="checkbox"/> スマートフォン (携帯電話) | (通帳、現金、パスポート、運転免許証、病院の診察券、マイナンバーカードなど) |



子供がいる家庭の備え

- | | | |
|--|-----------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ミルク (キューブタイプ) | <input type="checkbox"/> 子供用紙オムツ | <input type="checkbox"/> 抱っこひも |
| <input type="checkbox"/> 使い捨て哺乳瓶 | <input type="checkbox"/> お尻ふき | <input type="checkbox"/> 子供の靴 |
| <input type="checkbox"/> 離乳食 | <input type="checkbox"/> 携帯用お尻洗浄機 | |
| <input type="checkbox"/> 携帯カトラリー | <input type="checkbox"/> ネックライト | |

女性の備え

- | | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 生理用品 | <input type="checkbox"/> サニタリーショーツ | <input type="checkbox"/> 防犯ブザー/ホイッスル |
| <input type="checkbox"/> おりものシート | <input type="checkbox"/> 中身の見えないごみ袋 | |

高齢者がいる家庭の備え

- | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 大人用紙パンツ | <input type="checkbox"/> 入れ歯 | <input type="checkbox"/> デリケートゾーンの洗浄剤 |
| <input type="checkbox"/> 杖 | <input type="checkbox"/> 入れ歯用洗浄剤 | <input type="checkbox"/> 持病の薬 |
| <input type="checkbox"/> 補聴器 | <input type="checkbox"/> 吸水パッド | <input type="checkbox"/> お薬手帳のコピー |



3 台風通過後の手入れ

台風通過後、被害が発生していないか？ 建物や設備についてチェックしましょう。

強風により海水が飛散して建物や設備・装置に付着しています。外壁や窓ガラス、設備・装置などを水洗いし、塩分を取り除きましょう。普段から雨にぬれる部分は、雨が塩分を洗い流してくれますが、軒下などの雨にぬれない部分は、塩分が残りやすい状態になります。軒下にあるエアコンの室外機も電気部品に水がかからないように注意して洗い流し、塩分を取り除きましょう。

6

住宅修理サービスなどのトラブル

台風や豪雨、地震などの大規模な災害の後は、便乗した悪徳商法等のトラブルが発生する傾向にあります。

自然災害に関する消費者トラブルの相談件数は、2011（平成23）年に発生した東日本大震災により急増し、その後も増加傾向にあります。

住宅修理などに関し、「保険金が見える」と言って勧誘する業者とのトラブルも増加しているため、このような勧誘については、住宅修理業者と契約する前に、ご契約している保険会社や代理店へご相談ください。万が一、トラブルが発生した際は全国共通の電話番号「消費者ホットライン」（☎188）にお電話いただき、身近な消費生活相談窓口にてご相談ください。

「保険が見える」にご用心!

火災・地震保険の請求を勧誘する業者とのトラブルが急増しています。

台風・豪雨・大雪・地震などの自然災害の後にトラブルが多くなります。

トラブル 1 甘い言葉で誘惑



うちがサポートすると平均100万円は皆さんもらっていますよ。支払われた保険金の使い道は自由です。



100万円ももらえるの!? ぜひお願いします!

保険金は手数料なしで申請いただけます。

えっ! そんなにサポートの手数料をとるの!? 残ったお金では修理できないよ。



トラブル 2 知らない間に詐欺に加担



被害診断から保険金の請求まで全てこちらにお任せください!



もともと古くなって壊れている箇所もあるけど、本当に任せていいのかな...

うその理由で保険金請求すると詐欺に該当するおそれがあります。保険金請求のためにわざと屋根を破壊する業者も存在します。



「保険が見える」と言われたら!

ご加入の「損害保険会社」か「損害保険代理店」に

まず相談!

トラブル事例を

YouTubeでもご覧いただけます。

日本損害保険協会ホームページ「住宅の修理に関するトラブルにご注意ください」



<https://www.sonpo.or.jp/caution/syuri.html>





Web版のご案内



●わが家の台風対策（第2版）

本冊子をWeb上でご覧いただけます。

<https://www.daidokasai.co.jp/disaster/typhoon/>



●わが家の耐風チェック

台風対策が十分かどうか簡単にチェックすることができます。

<https://www.daidokasai.co.jp/disaster/>



●2003年台風14号の脅威

2003年宮古島に襲来した台風14号（マエミー）の脅威をご確認いただけます。

<https://www.daidokasai.co.jp/disaster/maemii/>



「この島の損保。」

 **大同火災海上保険株式会社**

本店 〒900-8586 沖縄県那覇市久茂地1丁目12番1号
〈ホームページアドレス〉 <https://www.daidokasai.co.jp/>

●お問い合わせ先

業務部 あんしん・あんぜん企画推進課
TEL 098-869-5860 FAX 098-863-1702